

2021年4月19日

報道関係 文化・音楽ご担当者
音楽ジャーナリスト／関係者 各位

コンサートマスター 就任のお知らせ

公益財団法人東京交響楽団（理事長：澤田秀雄 本部：東京都新宿区）は、2021年9月1日付でコンサートマスターとして小林壺成（こばやし いっせい）氏を迎えることを発表いたします。

1994年生まれ。現在26歳の小林氏は、東京藝大、同大学院を経てベルリン芸術大学大学院修士課程を修了。以来、ベルリンを拠点に国内外の音楽祭等で著名音楽家等と共演を重ねる気鋭のヴァイオリニストです。

ゲスト・コンサートマスターとしての初共演は、2019年5月18日東京オペラシティシリーズ第109回。音楽監督ジョナサン・ノット指揮のもと、ブルーゼズ：メモリアル（…爆発的ー固定的…オリジナル）～フルートと8つの楽器のための、ヤン・ロバン：クオーク～チェロと大編成オーケストラのための、ベートーヴェン：交響曲第7番という、非常に複雑難解な作品が並んだプログラムを率いました。

二度目は昨年、2020年12月16日川崎定期演奏会第75回（振替公演）で、正指揮者原田慶太楼の指揮で、藤倉大：海、ブリテン：歌劇「ピーター・グライムズ」より“4つの海の間奏曲”、ニールセン：序曲「ヘリオス」、エルガー：エニグマ変奏曲で共演しました。

また2005年、当時小学5年生の小林氏は、東京交響楽団&サントリーホール「こども定期演奏会」の“こども奏者”の一人として当楽団と共演しており、この度のコンサートマスター就任は、今年20周年を迎える同シリーズの教育的活動の成果ともいえます。

すでに音楽監督ジョナサン・ノットの期待も高く、今後は、グレブ・ニキティン、水谷晃との3名体制で、75周年を迎えた当団の魅力をより高める活動を展開してまいります。

小林壺成氏のコメント

「偶然にも『こども定期演奏会』のこども奏者として舞台に上がらせていただいてから十数年。

創立 75 周年という記念すべき年に、責任あるコンサートマスターに就任することとなり、大変光栄に思います。これから始まる新しい使命に向け、今の新鮮な気持ちを大切に、皆様と共に音楽の世界を探究し、音楽の魅力を分かち合えるように精進して参ります」

◎小林 壱成 Issei Kobayashi プロフィール

1994 年生まれ。東京藝術大学卒業。同大学院を経てドイツ・ベルリン芸術大学 大学院修士課程修了。
Gyrfas Competition (ベルリン)最高位受賞、在学中、Symphonieorchester der UDK Berlin のコンサートマスターとしてヨーロッパ各国で演奏。幼少より篠崎史紀監督の青少年オーケストラ TJOS で活動し藝大にて師事。ドイツにて Prof. M. Contzen、バイエルン放送響第 1 コン서트マスター A. Barakhovsky に学ぶ。また室内楽をアルテミス・カルテットに学ぶ。青山音楽賞新人賞、日本音楽コンクール他受賞多数。国内外の音楽祭出演はじめ、ヴェンゲーロフ、レーピン等著名音楽家と共演を重ねる他、各楽団のゲスト・コンサートマスターとして活躍。2017 より銀座王子ホールレジデント「ステラ・トリオ」メンバーとしての活動を開始。



【お問合せ】

公益財団法人東京交響楽団 広報本部

高瀬 takase@tokyosymphony.com 伊藤 ito@tokyosymphony.com

TEL: 044-520-1518 FAX: 044-543-1488